

「賃金引上げ等の実態に関する調査」にご協力ください。

厚生労働省

厚生労働省では、「平成28年賃金引上げ等の実態に関する調査」を実施します。

この調査は、民間企業における賃金・賞与の改定額、改定率、賃金・賞与の改定方法、改定に至るまでの経緯等を把握することを目的として、主要産業に属する会社組織の民間企業で、製造業及び卸売業、小売業については常用労働者30人以上、その他の産業については常用労働者100人以上を雇用する企業のうちから産業別及び企業規模別に抽出した約3,500企業を対象とし、毎年1月から12月までの1年間の常用労働者の賃金改定について調査するものです。

調査の結果は、最低賃金決定のための中央最低賃金審議会（目安に関する小委員会）で利用されているほか、労働経済白書をはじめとする賃金分析などにおいて広く活用されているほか、社会的関心も高く、非常に重要な調査となっております。

対象になった企業におかれましては、調査の趣旨、重要性をご理解いただき、何卒調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

沖労発基0617第3号

平成28年6月17日

公益社団法人 沖縄県トラック協会 会長 殿

沖縄労働局長

平成27年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況について

労働行政の推進につきまして、日頃から格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、職場における熱中症予防対策の重点的な実施については、平成28年3月7日付け沖労発基0307第2号により通知したところですが、平成27年の全国及び沖縄県内の職場における熱中症による死傷災害発生状況について別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

なお、気象庁の暖候期予報によれば、平成28年の暖候期（6～8月）は、特に西日本では気温が平年並みか平年より高くなることが予想されていることから、熱中症による労働災害が多く発生することが懸念されるところです。

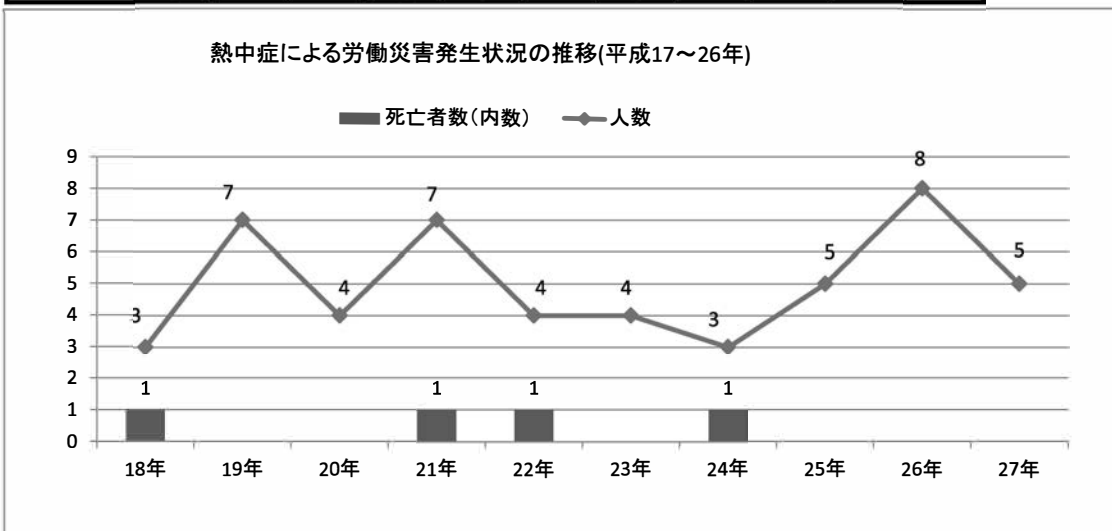
貴職におかれましては、平成27年の熱中症による死傷災害発生状況を参考にいただき、職場における熱中症予防対策に一層の取組の会員事業場への周知等について特段の御理解と御協力をお願い申し上げます。

(担当：労働衛生専門官)

熱中症による災害発生状況(平成18年以降、休業4日以上)

1. 熱中症による労働災害発生状況の推移(平成18～27年)

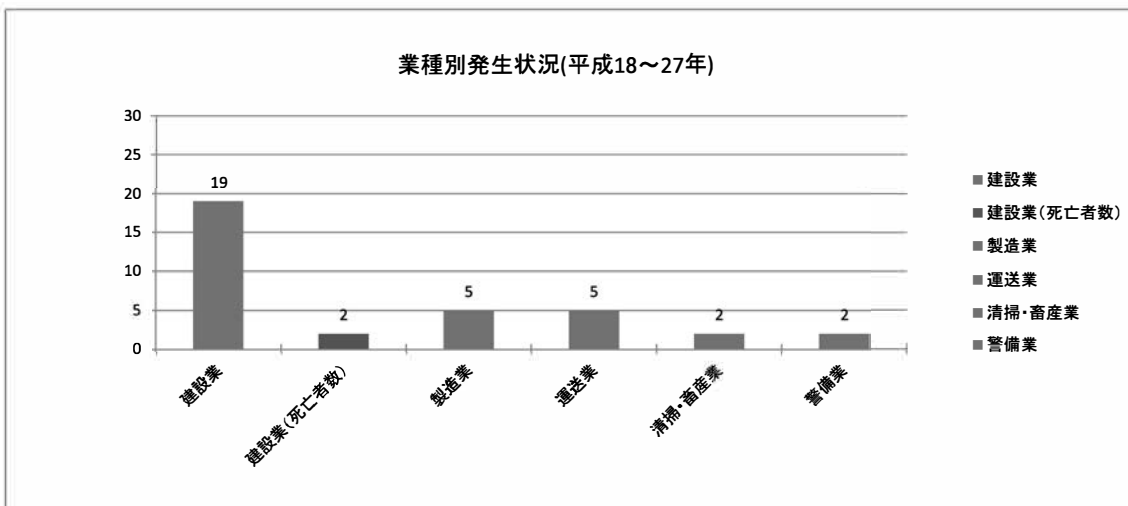
年(平成)	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	計
人数	3	7	4	7	4	4	3	5	8	5	50
死亡者数(内数)	1			1	1		1				4



2. 業種別発生状況

業種	建設業	製造業	運送業	清掃・畜産業	警備業	その他	計	死亡者数
	死亡者数							死亡者数
平成18年	2				1		3	1
平成19年	4					3	7	
平成20年	1	1		1		1	4	
平成21年	4	1	2				7	1
平成22年	1	1				2	4	1
平成23年	2		1			1	4	
平成24年	2	1					3	1
平成25年	1		1			3	5	
平成26年	2		1	1	1	3	8	
平成27年		1				4	5	
計(人)	19	2	5	2	2	17	50	4

※死亡者数は、その業種の内数である。

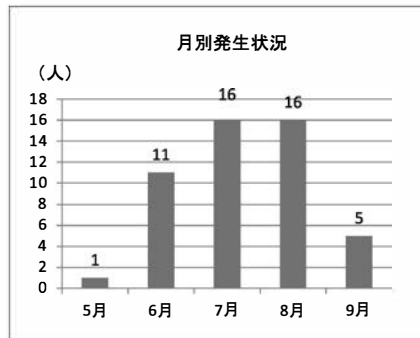


3. 月・時間帯別発生状況

(1) 月別発生状況

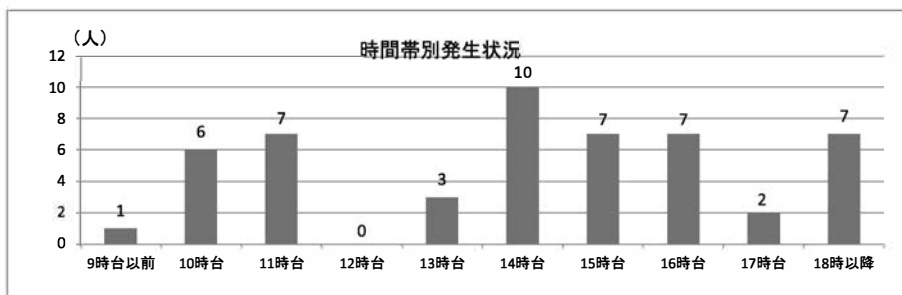
月	5月	6月	7月	8月	9月	計(人)
平成18年			1	2		3
平成19年	1	1	4	1		7
平成20年		2	2			4
平成21年		2	3	1	1	7
平成22年			1	3		4
平成23年			1	2	1	4
平成24年			1	2		3
平成25年			1	2	2	5
平成26年		5	1		1	7
平成27年		1	1	3		5
計(人)	1	11	16	16	5	49

※平成26年は10月に1件発生



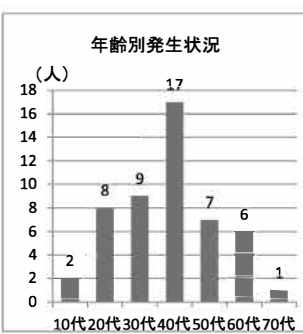
(2) 時間帯別発生状況

時間帯	9時台以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降	計(人)
平成18年						1	1	1			3
平成19年						1	4	2			7
平成20年			2			1			1		4
平成21年		1	1		1	2		2			7
平成22年		1				1		1		1	4
平成23年			1		1	2					4
平成24年								1		2	3
平成25年			1		1	1	1		1		5
平成26年	1	2	1			1	1			2	8
平成27年		2	1							2	5
計(人)	1	6	7	0	3	10	7	7	2	7	50



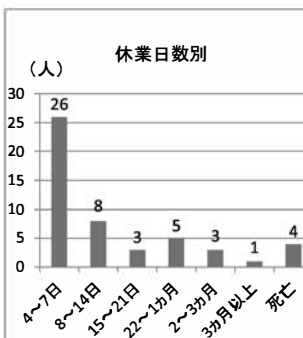
4. 年齢別発生状況

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
平成18年			1	2				3
平成19年		1	1	4	1			7
平成20年				2		1	1	4
平成21年		2		3		2		7
平成22年	1	2			1			4
平成23年		1		1	1	1		4
平成24年			3					3
平成25年	1		1	2	1			5
平成26年		2	1	2	1	2		8
平成27年			2	1	2			5
計(人)	2	8	9	17	7	6	1	50



5. 休業日数別

日数	4~7日	8~14日	15~21日	22~1ヵ月	2~3ヵ月	3ヵ月以上	死亡	計(人)
平成18年		1		1			1	3
平成19年	1	2	1	2			1	7
平成20年	1	1	1		1			4
平成21年	3	1		2			1	7
平成22年	3						1	4
平成23年	3	1						4
平成24年	2						1	3
平成25年	3				2			5
平成26年	7		1					8
平成27年	3	2						5
計(人)	26	8	3	5	3	1	4	50



沖縄労働局管内における熱中症災害発生状況(平成22年以降、休業4日以上)

沖縄労働局

番号	所轄署	災害発生日	業種	年齢	性別	被災程度	災害発生状況
1	那覇(南部)	平成22年7月中旬	建築工事業	20代	男	4日	午後2時頃、新築工事現場の型枠解体作業中、水分補給のため移動していた被災者がめまいを起こし倒れこんだもの。
2	那覇(南部)	平成22年8月上旬	飲食店	20代	男	5日	調理場において、水分等補給もせず作業を続けたところ、終了後の清掃等に、ふらふらしたもの。
3	八重山	平成22年8月上旬	林業	50代	男	死亡	午後4時頃、山中において、下草刈り作業を行っていた被災者が、倒れている状態で発見されたもの。当日の最高気温は32.4度であった。
4	沖縄(中部)	平成22年8月中旬	クリーニング業	10代	男	5日	作業中、体調が悪くなり、一旦帰宅したが、救急車で病院に搬送されたもの。
5	那覇(南部)	平成23年7月上旬	建設工事業	50代	男	1週間	午後1時30分ごろ配管工事において、足場の組立作業中に気分が悪くなったもの。
6	沖縄(中部)	平成23年8月上旬	土木工事業	40代	男	5日	午後2時40分ごろ街路樹の剪定作業において、剪定枝をトラックに積み込み作業中に気分が悪くなり、筋肉のけいれんを発症したもの。
7	八重山	平成23年8月中旬	その他の事業	60代	男	5日	午前11時ごろ街路樹の剪定作業において、剪定作業中に気分が悪くなり、倒れたもの。
8	那覇(南部)	平成23年9月下旬	道路貨物運送業	20代	男	10日	午後2時ごろ配送作業において、配送先で荷下ろし作業後に気分が悪くなり、寒気、吐き気、筋肉のけいれんを発症したものの。
9	沖縄(中部)	平成24年7月上旬	建設工事業	30代	男	4日	日中のビル屋上での工事を終えて夕方に、足がけいれんし、気分が悪くなったもの。
10	沖縄(中部)	平成24年8月中旬	建設工事業	30代	男	1週間	午後4時過ぎ、施設の屋上へ重量物を運び終えたところ、目まい、手足のけいれんが起こったもの。
11	沖縄(中部)	平成24年8月中旬	製造業	30代	男	死亡	被災者は、焼成室内で焼き具合の監視業務についていたが、21時頃、トンネルオープン出口付近で倒れているところを発見され、救急車で病院に搬送されたが、翌日に死亡した。
12	那覇(南部)	平成25年5月下旬	建設工事業	40代	男	3か月	午前中、墓地で基礎工事を行っていたところ、気分不良となり、救急車を要請したもの。
13	沖縄(中部)	平成25年6月下旬	その他	40代	男	6日	日中倉庫内作業において気分が悪くなったもの。当日は帰宅し、翌日診断により判明したもの。
14	那覇(南部)	平成25年7月上旬	建設工事業	30代	男	3か月	建設工事にて作業中、17時ごろ気分が悪くなり、現場にて体をひやすなどしたが、回復せず、病院へ搬送されたもの。
15	名護(北部)	平成25年8月上旬	小売業	50代	女	7日	屋外の移動パーラーで臨時に業務していたところ、午後になって気分が不良となり、木陰で安静にするも回復せず、病院にて受診したもの。

沖縄労働局管内における熱中症災害発生状況(平成22年以降、休業4日以上)

沖縄労働局

番号	所轄署	災害発生日	業種	年齢	性別	被災程度	災害発生状況
16	宮古	平成25年8月中旬	ホテル業	10代	男	6日	日中、屋外飲食場にて業務に従事していたところ、脱水状態になったもの。
17	沖縄(中部)	平成26年6月中旬	その他/清掃業	50代	男	5日	前日より体調に不安があり、当日も作業中に不調となり、途中帰宅したもの。
18	那覇(南部)	平成26年6月中旬	建設工事業	20代	男	5日	新築工事の3階室内にて作業中(午後から出勤、残業時間において)、気分が悪くなり搬送されたもの。
19	沖縄(中部)	平成26年6月中旬	建設工事業	60代	男	20日	新築工事の屋外作業中、晴天・高気温の中、手のしびれが有り受診となったもの。
20	那覇(南部)	平成26年6月下旬	道路貨物運送業	30代	男	7日	配送センターにて荷卸し中、筋肉のけいれん・吐き気・頭痛により体調不良を訴えたもの。
21	那覇(南部)	平成26年6月下旬	医療業	40代	女	6日	3日前からクーラーの効きが悪く、医療器具の洗浄・乾燥作業を室内で実施していたところ、めまい・気分不良・下肢のしびれにより搬送されたもの。
22	那覇(南部)	平成26年7月上旬	警備業	60代	男	6日	工事現場にて交通誘導中に、大量発汗・頭のふらつき・のどの渇き・気分の悪化の発生があったもの。
23	沖縄(中部)	平成26年9月下旬	その他	40代	男	4日	倉庫内において、空気ポンベの充填中、具合が悪くなり座り込み、その後救急搬送されたもの。
24	沖縄(中部)	平成26年10月上旬	ホテル業	20代	男	7日	蒸し暑い中、屋外の玄関ベルカウンターにて勤務中、脱水状態になり、気を失って転倒したもの。
25	那覇(南部)	平成27年6月中旬	農業	40代	男	8日	畑にて、炎天下のごく僅かな日陰しかない中でビニールシートを埋設作業中、熱中症になったもの。
26	那覇(南部)	平成27年7月上旬	派遣業	30代	女	5日	レンタカー営業所屋外の炎天下で、車両案内業務中に頭痛があり、鎮痛剤を服用しても治まらないまま業務を続行した。業務終了後帰宅時に、吐き気と眩暈を感じ、自宅で水分補給しても改善されず、病院受診により熱中症と診断された
27	名護(北部)	平成27年8月上旬	その他の接客娯楽業	30代	女	6日	某施設閉館後、頭痛により座り込んだ。その後病院にて受診結果、脱水症状にともなう熱中症と診断を受けたもの。
28	沖縄(中部)	平成27年8月中旬	製造業	50代	男	7日	工場内にて焼成作業終了前に具合が悪くなり、休憩後帰宅した。帰宅途中、全身ケイレンを起こし、病院を受診した結果、熱中症と診断されたもの。
29	名護(北部)	平成27年8月中旬	教育・研究業	50代	男	10日	某観光地の日陰等がない場所で草刈作業行っているときに、気分が悪くなり休憩したが、回復しなかったため病院にて受診した結果、熱中症と診断されたもの。

※ 本災害発生状況は、労働者死傷病報告による集計結果より作成されたものである。